

第20回 下関市芸術文化祭《美術展》目録

会 期 令和8年10月24日(土)～11月7日(土)

※10月26日(月)、11月2日(月)は休館

時 間 午前9時30分～午後5時

会 場 下関市立美術館(下関市長府黒門東町1-1)

主 催 下関市・下関市教育委員会

(公財)下関市文化振興財団

共 催 下関市文化連合会(下関市文化協会・菊川文化協会・
豊田文化協会・豊浦文化協会・豊北文化協会)

企画・運営 下関市芸術文化祭運営委員会

審査員 (敬称略)

1部・2部 (絵画・彫刻等) 牛尾 篤 (画家)

3部 (書) 山本 一遊 (書家)

4部 (工芸) 松尾伊知郎 (陶芸・立体造形作家/
東亜大学副学長・芸術学部長)

5部 (写真) 倉田 研治 (山口県立大学 国際文化学部
文化創造学科・准教授)

6部 (デザイン・イラスト) とだかつき (漫画家・イラストレーター/
公益社団法人日本漫画家協会
中国ブロック長)

美術部門受賞者

大 賞 [工芸]	鼓 動	島 津 由美子
下 関 市 長 賞 [書]	いろは歌	崎 田 知 弘
下関市議会議長賞 [写真]	ヒノヤマリング	杉 本 吉 駿
下 関 市 教 育 長 賞 [デザイン・イラスト]	冬中夏草～命の役割～	東 梨 子
下関市文化協会長賞 [写真]	踊る中底曳船	多 田 和 夫
菊川文化協会長賞 [絵画・版画等]	風景	中 司 絹 枝
豊田文化協会長賞 [絵画・版画等]	ぼくの大好きなダムたちの共演	大久保 晋 祐
豊浦文化協会長賞 [絵画・版画等]	道遍く父	伊 藤 敏 治
豊北文化協会長賞 [書]	良寛の和歌 三首	前 田 幸 男
特 選 [絵画・版画等]	午後に迷いこむ	岡 寿 子
特 選 [絵画・版画等]	利尻山を望む	新 免 一 恵
特 選 [絵画・版画等]	H3 ロケット打ち上げ見学	宮 武 球 子
特 選 [彫刻・立体作品]	パラレルワールド	早 田 マチ子
特 選 [書]	李頎詩	福 川 博 宣
特 選 [書]	般若心経	松 村 美智子
特 選 [書]	興至	村 橋 壽 明
特 選 [工芸]	掛分深鉢	高 木 智 大
特 選 [工芸]	海峡を渡る風	冨 永 知奈美
特 選 [写真]	漁港	安 藤 和 子
特 選 [写真]	そして子らは遊ぶ	李 仲 浩
特 選 [写真]	愛情表現	志 岐 俊 廣
特 選 [デザイン・イラスト]	視察	藤 上 悠
特 選 [デザイン・イラスト]	ひみつの特等席	丸 形 良 美

1部・2部 絵画・版画等、彫刻・立体作品

奨励賞 かげろう 北 野 満 昭

奨励賞 消費者 佐 藤 一 輝

奨励賞 ざ・しものせき 新 田 正 二

奨励賞 水門の跡 原 田 幸 村

奨励賞 香 宮 崎 真理絵

入 選 淵 天 本 しおん

入 選 こもれびの先に 有 村 典 世

入 選 漁港のある風景 伊 藤 康 子

入 選 山里のうた 今 田 八重子

入 選 海峡の朝 因 藤 祥 一

入 選 ISARI (漁) 魚 谷 宏 子

入 選 思い出の漁港 鵜 澤 松 代

入 選 反遠近法の考察 江 夏 勝 重

入 選 ヨーロッパの追憶 大 木 千代子

入 選 お点前ちょうだいいたします 大久保 ゆかり

入 選 藤の花屋敷 岡 崎 美保子

入 選 薔薇 碓 崎 珠 江

入 選 最初の風が吹く嶺 金 井 理 恵

入 選 ニューヨーク、ニューヨーク 鹿子木 成 子

入 選 断崖から見る東シナ海 兼 原 のり子

入 選 昭和の apartment 河 野 正 雄

入 選 お出かけ 菊 地 鈴 枝

入 選 散華 北 野 満 昭

入 選 レリーフ 久 保 太 志

入 選 月に恋して 久保田 啓 子

入 選 仰げば尊し 坂 野 健太郎

入 選 born-on 佐 藤 博 美

入 選 静物Ⅰ 三分一 美智子

入 選 静物Ⅱ 三分一 美智子

入 選 マルシェ 下 田 陽 子

入 選 カラー 下 田 陽 子

入 選 白いパラソル 新 屋 和 彦

入 選 覗くなキケン 杉 永 昌 美

入 選 光は満ちよ そしてカンタービレ 杉 村 祐 子

入 選 〈Fantasy〉関門海峡の急潮を航った船たちよ 栄光あれ! 瀬 口 勲

入 選 すこやかな朝の始まり 即 席 静 枝

入 選 碧光へ 高 岡 美津子

入 選 眠りと夢と 高 山 環

入 選 4分の1 ドーナツさん 武 久 万里子

入 選 アフリカの爽気 武 本 直 美

入 選 神幸 田 坂 美 穂

入 選 波紋 多田隈 国 治

入 選 奄美大島のガジュマル 田 中 美恵子

入 選 孫とひ孫 中 司 絹 枝

入 選 追憶から継承 中 野 圭 子

入 選 緑 長 峯 みどり

入 選 いつかの夏 西 田 ひかり

入 選 お花見 西 村 昌 弥

入 選 隠された寺 ネスボラ・フランチェスコ

入 選 ある日 ネスボラ・フランチェスコ

入 選 風が帰る場所 波 奈 幸 子

入 選 無題 馬 場 孝 夫

入 選 爆ぜる 早 河 実 紀

入 選 潮 (うしお) 早 河 実 紀

入 選 ハシビロコウの木 早 田 マチ子

入 選 優しい光～禅ローズ～ 原 田 あすか

入 選 「観の平家」模写 原 田 悦 子

入 選 浄土 原 田 幸 村

入 選 Live Aloha 坂 東 望 加

入 選 秋涼 廣 中 万里子

入 選 姉の旅ログ in 眼鏡橋 福 永 望々華

入 選 金魚とS/Sの出目金 藤 上 慶

入 選 ヒノヤマリング 藤 永 勝 成

入 選 朝光へ共に 藤 永 加奈子

入 選 帰り船 藤 山 昭

入 選 蒼天の雪化粧 前 川 益 子

入 選 木製めがね今日はどれ? 前 田 久 嘉

入 選 波状紋焼締壺 前 鶴 幸 治

入 選 群青のうたげ 松 村 久

入 選 ツグミ 丸 田 詞 加

入 選 美味しそう 美濃部 芳 江

入 選 愛は源より 三 村 順 子

入 選 馬年に生きる 宮 武 球 子

入 選 湖畔のコスモス 村 尾 忠

入 選 みんな遊ぼう～! 村 田 悦 子

入 選 もう一度見たいあの絶景 森 岡 康 弘

入 選 ハッサン山 (トルコ) 山 田 洋 子

入 選 花の香り 山 根 美恵子

入 選 春爛漫 (戦場ヶ原) 湯 本 節

入 選 マチスのある午後 吉 田 泰 子

【1部・2部講評】

世界的にAI、デジタル作品に対する反動なのか、具象絵画の作品が再注目されるようになりました。そのせいでしょうかはわかりませんが、今回応募された作品も、非常に緻密に描き込んだ絵画作品が多く見うけられました。優劣をつけて作品を選んでいいものかどうか非常に悩みました。個人の人生観、生活観、それに純粋な色彩の美しさ、私の好きな方向性である、アウトサイダーアート、プリミティブアートの雰囲気を感じさせる作品、それらの観点から作品を選ばせていただきました。惜しむらくは過剰な装飾をほどこしたフレームを使われた作品が散見され、絵そのものの良さが失われているのではないかと感じました。ご自分の作品の力を信じて制作されていけば、フレームがなくても見る人により強く印象に残ることと思います。私も初心に戻り制作を続けていきます。

[牛尾 篤]

3部

書

奨励賞 七言二句 中 尾 辿

奨励賞 王維詩 福 永 千 鶴

奨励賞 白楽天詩 山 縣 鈴 子

入 選 櫻 伊 藤 さら紗

入 選 春の情景 伊 藤 奈 穂

入 選 陸亀蒙詩 大 嶋 志奈子

入 選 万物の霊気 金 田 洋 子

入 選 喜撰法師のうた 義 満 典 子

入 選 楓橋夜泊 熊 谷 光 子

入 選 李白詩 小 浦 千 里

入 選 与謝野晶子の短歌 児 玉 早 苗

入 選 曹植詩 小 林 正

入 選 サンテグジュペリのことば 崎 田 知 弘

入 選 懷素 論書帖より 佐々木 美智江

入 選 平家物語 佐 藤 貴 子

入 選 呉偉業詩 篠 原 邦 行

入 選 清原深養父詩 下 田 理英子

入 選 防人の歌「父母が」 田 中 義 文

入 選 (晩) 権徳輿 槻 本 多美子

入 選 楊凌の詩 辻 野 智 子

入 選 謝枋洲の詩 辻 野 佳 子

入 選 水草の花 常 岡 玲 子

入 選 蘭亭集序 中 嶋 裕 美

入 選 終南山 中 島 有紀子

入 選 菩提偈 永 田 瑤 華

入選	魚玄機詩	中場 暁子
入選	月影	西坂 玲子
入選	豊歳	西田 愛恵
入選	四体書屏	林 若代
入選	読み人しらずの詩	弘中 和代
入選	過香積寺	藤井 千夏
入選	無題	藤井 未代子
入選	いのちの理由	松井 幸子
入選	風	三浦 華恋
入選	李白詩	三戸 智美
入選	書譜の一節	嶺野 早希
入選	清光	宮田 里美
入選	早発白帝城	村上 遥夏
入選	泊舟古渡	守川 恵美子
入選	あなたの心	山城 千颯
入選	王維詩	山田屋 君代
入選	雨二モマケズ	吉田 泰子
入選	秋思	六ヶ所 順美

【3部講評】

昨年に引き続き、県下でも書の発信源ともいえる下関の市美展を楽しみながら、また、緊張感を持って審査にあたらせて頂きました。

昨年より少々出品数が減少したことは誠に残念ではございましたが、作品は力作揃い!!特に漢字作品が大半で、楷書、行草、篆書、隸書作品、それぞれ多彩な表現があり、審査は難航を極めました。また、かな作品や漢字かな交じり書の作品は、少数ながら、独自の個性を生かしたインパクトのある作品があり、もっと多くの多彩な作品を拝見したかったと感じました。

書は、限られた紙面の中で、白と黒を生かした線の芸術です。技術・鍛錬・感性・精神性など萬物の影響によって表現が大きく変わっていくと考えます。

書の盛んな下関において、今後さらなる力作が発表されることを願っています。

〔山本 一遊〕

4部	工芸
----	----

奨励賞	海のシンフォニア	大田 悠仁
奨励賞	香雅の訪れ	野村 有子
入選	ザトウクジラのジャンプ	岡 憲明
入選	トウモロコシ音頭 さあ～踊って踊って～	岡 憲明
入選	青をまとう	角谷 峰子
入選	如来と不動明王	川島 博之
入選	不動明王三体	川島 博之
入選	生成層（3点組）	菊澤 正樹
入選	花入・アジサイ	木村 富廣
入選	昇り龍	久保 陽子
入選	思い出のメープル街道	黒柳 佳子
入選	森の小人のクリスマス	黒柳 佳子
入選	紫陽花／ソーパークーピング	柿 美和
入選	水海月	佐原 八重子
入選	三兄弟	島田 雅子
入選	置物	簀河原 正敏
入選	赤のえりとボタンのかびん	瀬戸 孝子

入選	葉っぱ集合の大皿	瀬戸 孝子
入選	三方押鉢	高木 智大
入選	万古の錦	中川 裕美
入選	彩葉のシンフォニア	長野 昌子
入選	華	中村 智子
入選	息子のニコニコを守る母さんの蚊取り線香ホルダー	西重 桂子
入選	パッションフラワー	日高 ヒロ子
入選	義経	藤中 雄史
入選	サッカーワールドカップ組器	松永 守通
入選	波止場にて	室田 弘恵
入選	でかくて丈夫なばばの井	山本 禅
入選	Arabesk	芳家 つほみ
入選	Arabesque	芳家 つほみ

【4部講評】

審査会場で作品を見せていただいた第一印象は、昨年よりも全体的にレベルが上がったと感じたことでした。

一つ一つの作品をゆっくり見ていくと、皆様が楽しんで、自由にのびのびと制作していることがとてもよく伝わってきました。皆様の作品の中で心地よい雰囲気を感じる審査会場もありました。

審査につきましては緊張感を感じながら、厳正に選考をさせていただきました。入賞作を選ぶのが大変難しい選考でした。

大賞を授賞された島津由美子様の「鼓動」は、大きな作品から受けるおおらかで温かみのある作品です。シンプルな全体構成でありながら、非常に細かく丁寧な作りであり、細部までよく考えながら手間暇掛けて製作しているのが印象的です。一つ一つの細部を見ていく楽しさを感じます。配色にも細かい気配りを感じました。

特選の富永知奈美様の「海峡を渡る風」は、水引の作品であり、丁寧で繊細にまで考えて作り込まれています。下関のイメージが違和感なく作品に取り入れられていて、綺麗で完成度の高い作品です。

特選の高木智大様の「掛分深鉢」は、ロクロとロクロ製作後の形の作り方に技術力の高さを感じました。丁寧な作り込みで全体の形と色のバランスもよく、完成度の高い作品です。

昨年度よりも今年度の出品数が増えたことは大変喜ばしいことでした。

今回出品された皆様、更に多くの皆様が芸術文化に興味を持ち、作品を制作していただけることを心より願っております。

〔松尾 伊知郎〕

5部	写真
----	----

奨励賞	道程	井上 親彦
奨励賞	冬の日、午前の街	奥田 純
奨励賞	陶工	中本 伸夫
入選	俳句を詠む	安藤 和子
入選	冠の光	李 仲浩
入選	雨上りの楽しみ	池田 京子
入選	水面上のアリア（独唱）	池田 幸司
入選	おっ！おっ！おっ！	磯部 芳人
入選	あるかぼーと入港	磯部 義之
入選	落陽	井上 節子
入選	歓喜	井上 節子
入選	多様な現実	井上 親彦
入選	四彩に宿る命の記憶	植木 康代

入選	瞳に恋	奥田 和彦
入選	moment	奥田 和彦
入選	走る祭	奥田 純
入選	人工の中のウェザー	川上 勝
入選	デベロッピングスマイル(発展途上の微笑み)	川上 勝
入選	春告鳥	木村 誠一
入選	梅に戯れる	木村 誠一
入選	泣き相撲	黒木 丸生
入選	浸食する有機体	新谷 大介
入選	椿娘とシャボン玉	杉本 邦夫
入選	儚くも鮮やかに	橘 千加
入選	祭りの夜	谷口 功
入選	物価が高いでござる！	土谷 理及
入選	弾ける夏	中本 伸夫
入選	はまゆうの島	濱田 一雄
入選	Loop	濱畑 隆行
入選	残像	平井 敬司
入選	時間を運ぶ	古郷 巧海
入選	逃がすものか！	牧野 一夫
入選	初夏の海	牧野 一夫
入選	お散歩コース	政村 美恵子
入選	採れた～！	政村 美恵子
入選	家路	溝部 清志
入選	鈴なり	溝部 清志
入選	のどかなひととき	守川 静香
入選	白鷺	守川 静香
入選	追いかけて	守田 末光
入選	椿のおてだま	守田 末光
入選	丸窓の秋	山本 朝子
入選	水面の錦	山本 朝子
入選	少女の記憶	吉鹿 雅彦
入選	黄昏の語らい	吉鹿 雅彦
入選	ハイ・ポーズ	吉村 美千子
入選	満珠・干珠	吉村 保夫
入選	鉄道の春	吉村 保夫

【5部講評】

写真部門では、多彩かつ総じて質の高い作品が数多く応募されていた。写真表現と向き合い、それぞれ挑戦している様子が感じ取れて、甲乙つけがたい中での審査となった。伝えたいメッセージを、写真の持つ表現力を用いて、作者の中での折り合いや現代社会を反映しているのかなどを評価の基準とした。データによる制作では、画面上の状況とプリントすることで表出する粒状性や色合いを意識した丁寧な調整が求められる。身近になった画像処理技術を適切に利用していることも評価のポイントとした。組み写真では、複数枚である必然性や構成などを注視した。セレクトや組み立てのアプローチにより相互作用はあるのか、説明的になりすぎていないかなど。これからも、心が動いたこと、身近な事柄に反応できる感性を磨いてもらい、丁寧な作品づくりに挑戦してもらえることを期待します。

〔倉田 研治〕

6部	デザイン・イラスト
----	-----------

奨励賞	赤間神宮	片岡 祥子
奨励賞	遠くにおいてきたもの	藤井 紗夢

入選	海と遊ぶ	伊藤 康子
入選	Spark Heart	植田 純令
入選	アッジェの河の上の家	岡崎 美保子
入選	枯渴	奥野 悠太
入選	会いたい…	笠井 穂乃香
入選	笑顔	勝岡 美空
入選	地球が泣いている	木村 心映
入選	Under the sea	草富 悠日
入選	幸せいっぱい	国広 由美子
入選	大器晩成	倉橋 優太
入選	生きるとは	佐伯 和香
入選	食べたい	新本 淳貴
入選	想像の中で生きる私	田中 琴野
入選	異世界モンスター	土屋 茂康
入選	Save The Earth	永野 みのり
入選	覚悟	萩原 香凜
入選	とりかえせない言葉	花屋 美奈
入選	華かざり	浜名 敦子
入選	大切な時	福山 知優
入選	変わったもの、変わらないもの	藤井 咲良
入選	未来の下関	藤井 壯
入選	あの子の夢	藤上 悠
入選	四季の海	藤田 修一
入選	Forest of Life	星川 凜太郎
入選	きんいろの思い出	丸形 良美
入選	いつまでも	三谷 継之典
入選	変わらない想い	最上 櫻子
入選	私の涙で	渡部 桜羽

【6部講評】

漫画家・イラストレーターのとだかづきです。今年も熱のこもった作品に触れることが出来、幸せな時間を過ごさせていただきました。

6部デザイン・イラストの総評ですが、今回も審査に当たって、メッセージ性、デザイン性、独創性を重視して審査させて頂きました。作品数も増えて、力の入った作品が多く、審査はとても悩んだ印象があります。

教育長賞に輝いた「冬虫夏草～命の役割～」は冬虫夏草となった蜂の役割である受粉によって多くの植物につながって行くストーリーや、背景の雲をあえて画面下に配置することで、死んでも飛び続ける命の力強さを演出する構成力に感銘を受けました。

特選の2作品と奨励賞、また次点の点数は本当に僅差でした。あと少しのアイデアでいくらかでも覆るレベルの戦いで、アイデアで唸ったのは特選「視察」です。可愛いデザインアートのテイストなのに2種族のペンギンの関係性を想像するのが楽しくなってしまう作品でした。観るものを意識した仕掛けを一枚絵の中にどう落とし込むのか。そういう点も審査では重視しました。メッセージ性のある作品でも、どこまで観るものに伝えられるかは作者の力次第なのです。そんな作品のメッセージを観るものに正しく伝えるための方法の一つがタイトルです。イラスト作品に唯一許された文字による伝達方法。「視察」はその武器を有効に活かした素晴らしい作品でした。

まだまだ語り尽くせない部分は、ギャラリートークの中で個別に触れていこうと思いますので、そちらもよろしくお願いします。

今後も下関から世界へ羽ばたく作家が育つことを祈っております。

〔とだ かづき〕